

科目名	接客手話A						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	平嶋 光希
実施年度	2021年		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	手話入門編 視覚的にものを捉える工夫や様々な手段を使って、視覚障がい者伝え合うことを学ぶ。 手話の基本を身に付ける。(指文字・挨拶・数字 等)						
授業形式	講義: △		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					視覚障がい者の基礎知識を学び、説明することができる。	
	○					視覚障がい者の生活を理解し、説明することができる。	
		○				手話を使い、自己紹介をすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	今すぐはじめる手話テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	1、2、3講座 伝え合う。名前の紹介(1)					
	2	1、2、3講座 伝え合う。名前の紹介(2)					
	3	1、2、3講座 伝え合う。名前の紹介(3)					
	4	4講座 数字や時間の表現					
	5	5講座 好き、嫌い、得意、苦手の表現					
	6	6講座 行きたい場所の表現					
	7	7講座 病気や、怪我で困った時の表現					
	8	8講座 お天気と、乗り物の表現					
	9	9講座 買い物とお金の表現					
	10	手話検定テキスト 第1章					
	11	手話検定テキスト 第2章					
	12	手話検定テキスト 第3章					
	13	手話検定テキスト まとめ					
	14	自己紹介(実技)					
	15	手話検定(5級)試験					
評価方法	(1)授業の中で小テストを10回実施する。(筆記・実技) (2)レポートを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下とする)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト(筆記)7回	◎	○				60%
	小テスト(実技)3回		◎				30%
	レポート				◎		10%
履修上の注意							

科目名	サービス介助演習						
科目名(英)	Service assistance						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	玉置 万理子
実施年度	2021年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目	航空会社客室乗務員
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	超高齢社会にある日本において公共機関、交通機関、商業施設、レジャー施設、観光施設などあらゆる接客・接遇の場面で全ての人が安心して暮らしていけるサービスが必要である。この授業では、自分のできることや自分の役割を常に意識し、自発的に様々な人に関わり、円滑なコミュニケーションと快いサポートが提供できるようになるスキルの習得を目指す。						
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					超高齢社会の日本の現状を学び高齢者体験を通して高齢者の心身の状況を説明できる。	
			○			肢体不自由者の状態を学び、サポートできるようになる。	
			○			肢体不自由者の状態に応じた車椅子介助ができるようになる。	
			○			視覚障がい者の状態と環境を学び、体験を通し介助の仕方を工夫して提供できるようになる。	
		○				聴覚障がい者の状態と環境を学び、相手に合った介助のしかたを工夫できるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	超高齢社会の日本の現状				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	2	肢体不自由者 ー 肢体不自由者とは				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	3	肢体不自由者 ー 車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	4	肢体不自由者 ー 車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	5	肢体不自由者 ー 車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	6	肢体不自由者 ー 車椅子介助の実技試験				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	7	高齢者介助 ー 高齢者の現状				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	8	高齢者介助 ー 高齢者の心身の変化				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	9	高齢者介助 ー 高齢者とのコミュニケーション				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	10	視覚障がい者 ー 視覚障がい者体験(目隠し歩行)				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	11	視覚障がい者 ー 視覚障がい者介助演習				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	12	視覚障がい者 ー 視覚障がい者の現状				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	13	聴覚障がい者 ー 聴覚障がい者とは				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	14	聴覚障がい者 ー 聴覚障がい者介助演習				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	15	総まとめ・レポート課題					
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)レポート、課題プリントの提出以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業中の実技試験			◎	◎		50%
	レポート提出	○	◎		◎		50%
履修上の注意							

科目名	業界地理							
科目名(英)								
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	大岡 牧代	
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事	
対象学科・学年	エアライン科 2年							
授業概要	航空業界をはじめ、交通・運輸関連業界で働くうえで、海外の観光地理知識は必須である。 この授業では、どのようなものが観光資源となり得るのかを理解し、日本からの渡航者が多い国々の観光地理についての知識を習得する。							
授業形式	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○					ヨーロッパ・アメリカ・オセアニア・アジア主要国の位置と首都が把握できている。		
	○					上記主要国の主要都市・主要空港が把握できている。		
		○				世界遺産や料理、伝統行事など、観光資源になり得るものを説明することができる。		
	○					上記主要国の観光資源を1か国につき10以上挙げることができる。		
				○		各国の文化や歴史に興味を持ち、理解しようと努めることができる。		
テキスト・教材 参考図書	・成美堂出版「今がわかる 時代がわかる 世界地図 2020年版」 など							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	観光資源とは、世界遺産について				授業で出てきた世界遺産を地図帳で確認し、画像検索してイメージをつかむこと。		
	2	ヨーロッパの観光資源① ― イタリア				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	3	ヨーロッパの観光資源② ― フランス				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	4	ヨーロッパの観光資源③ ― スペイン・その他				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	5	アメリカの観光資源① ― 北米				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	6	アメリカの観光資源② ― 北米・中南米				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	7	オセアニアの観光資源 ― オーストラリア				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	8	アジアの観光資源 ― 東南アジア 、まとめテスト				授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
評価方法	(1)授業内で配布するプリントを使用した課題を回収し評価する。 (2)まとめテスト(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	まとめテスト	◎	◎				60%	
	課題	◎	○		◎		40%	
履修上の注意								

科目名	キャビンアテンダント業務Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科2年生						
授業概要	キャビンアテンダント(以下CA)を目指す学生を対象に開講する。一年時に学んだCA業務の知識を深める。CAの業務は幅広く、国内線・国際線共にサービススキルを高めていく。正しく業務内容を把握し、正しくお客様にご案内出来ることを目指す。また、CIQをお客様にお伝え出来るようにする。						
授業形式	講義: △		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○			清潔感のある身嗜み(ヘアメイク・スーツの着こなし)を保つことが出来る。	
		○				CA業務の基本知識を説明することが出来る。	
			○			ドリンクサービス業務を正確に行うことが出来る。	
		○	○			保安優先の行動が出来る。	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業の心構え・CA業務の基礎知識の復習				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	2	CA業務の一連の流れの理解(国際線保安)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	3	CA業務の一連の流れの理解(国際線サービス)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	4	国際線エコノミークラスサービス(基本編)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	5	国際線ビジネスクラスサービス(基本編)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	6	国際線ファーストクラスサービス(基本編)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	7	CIQの理解とお客様対応				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	8	本授業の振り返りと復習				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	・ サービスの実技試験を授業内で行う						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験		○	◎			90%
履修上の注意							

科目名	グランドスタッフ業務Ⅱ						
科目名(英)	Ground Staff Course Ⅱ						
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	平田 かおり
実施年度	2021年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目	国際線GSとして勤務
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	1年次に学んだ職種や業界の知識をさらに深め、航空業界のスペシャリストとして活躍できる人材を目指す。 グランドスタッフ業務Ⅰで学んだ基礎知識をロールプレイにて実技を以て定着させ、航空業界の現場で即戦力として必要とされるスキルを取得し、更なる専門性を身に付ける。						
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：○	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				航空業界、グランドスタッフに必要な専門用語を、場面に応じて正しく使用することができる。	
	○	○				グランドスタッフだけでなく共に働く多職種の業務の流れを把握し、それぞれの役割について説明できる。	
		○				正しい言葉遣いやお客様への対応力を身に付け、授業内のロールプレイで実践できる。	
		○				グランドスタッフの業務の流れを理解し、ロールプレイにて応用させ実践することができます	
テキスト・教材 参考図書	・エアポートビジネス入門 ・プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	グランドスタッフ業務Ⅰの振り返り・目標設定				グランドスタッフ業務Ⅰの内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	2	GSのキャリアプランについて					
	3	多頻度旅客、マイレージサービスについて				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	4	出発業務(渡航条件と渡航書類)について				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	5	チェックインロールプレイ				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	6	業界研究①					
	7	業界研究②					
	8	研究発表				研究内容をまとめ発表の準備をして臨むこと(0.5時間)	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)授業の中で小テストを5回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験	◎	○	○			70%
	発表内容	◎	○				30%
履修上の注意	グランドスタッフスタッフ業務Ⅰの内容をしっかりと復習した上で臨むこと。						

科目名	ホスピタリティサービス										
科目名(英)	Hospitality Service										
単位数	1単位			時間数	15時間			担当者			
実施年度	2021年度			実施時期	前期			担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科2年生										
授業概要	航空業界では、高いホスピタリティが求められる。また、「ホスピタリティ」という言葉を多用する業界でもある為、本義を正しく理解し、実践できることを目指す。また、企業が求める感動のサービスを理解し、ロールプレイで実践練習を重ねていく。										
授業形式	講義：○		演習：△		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○					ホスピタリティとは何かを理解し、説明できる					
		○				敬語の種類を認識し、違いを説明できる。					
				○		多様なお客様に対して、それぞれに応じた対応ができる。					
	○					気配り、心配りとは何かを説明できる。					
テキスト・教材 参考図書	図解版ホスピタリティの教科書										
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示			
	1	ホスピタリティ概念の理解						授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)			
	2	気配り①						授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)			
	3	気配り②						授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)			
	4	心配り①						授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)			
	5	心配り②						授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)			
	6	ホスピタリティマインドの育て方						授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)			
	7	ホスピタリティの為のケーススタディ						授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)			
	8	企業の現場での感動サービス						授業で習ったことを復習し、知識を定着させる(0.5時間)			
	9										
	10										
	11										
	12										
	13										
	14										
	15										
評価方法	①授業内で小テストを3回実施する ②レポート提出 以上を下記の観点・割合で評価する。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	評価割合
	小テスト	○		○							50%
	レポート	○		○							50%
履修上の注意											

科目名	AMADEUS II				
科目名(英)	AMADEUS II				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	平田 かおり
実施年度	2021年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	国際線GSとして勤務
対象学科・学年	エアライン科2年				
授業概要	世界トップシェアを誇るAMADEUSシステムで航空券の予約・発券について学び、検定においてAir-Expert(中級)合格を目指す。中級では運賃や運賃規則に関する知識を学び、テキストを参照せずに検定問題に対応できるようになる。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他
	○				
		○			
		○			
		○			
		○			
テキスト・教材 参考図書	テキスト:アマデウスユーザーガイド予約、アマデウスユーザーガイド発券・運賃、クイックガイド(早見表) オリジナルプリント				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	初級振り返り(情報検索、タイムテーブル、空席照会)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)
	2	初級振り返り(基本PNR作成、乗継PNR作成)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)
	3	初級振り返り(小児・幼児付きPNR作成・MEAL・SEAT・FFP)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)
	4	初級確認テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(0.5時間)
	5	情報検索中級編(フライトインフォメーション、時差、GGPCA)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)
	6	情報検索確認テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(0.5時間)
	7	PNR作成演習(PNRの分割、フライト変更)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)
	8	PNR作成演習(マイレージ情報からのPNR作成)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)
	9	PNR作成演習(セキュリティ設定、QUE送信)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)
	10	PNR作成演習(PNRのコピー、リマークス入力)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)
	11	PNR作成確認テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(0.5時間)
	12	PNR作成からの最安値検索、運賃照会			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)
	13	運賃表の照会と読み取り			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)
	14	運賃規則の確認(ルーティング)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)
	15	運賃規則の確認(ストップオーバー)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)
	16	運賃規則の確認(日付変更、キャンセル)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)
	17	運賃規則の確認(事前購入)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)
	18	運賃規則の確認(その他のルール)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)
	19	運賃表読み取り、運賃規則確認テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(0.5時間)
	20	情報検索、PNR作成(分割、マイレージ、コピー)復習			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)
	21	検定模擬試験①、採点			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)
	22	検定模擬試験①解説、やり直し			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)
	23	検定模擬試験②、採点			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)
	24	検定模擬試験②解説、やり直し			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)

	25	検定模擬試験③、採点				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	26	検定模擬試験③解説、やり直し				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	27	検定模擬試験④、採点				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	28	定期試験				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	29	検定振り返り				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	30	航空業界関連授業				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
評価方法	(1)授業内で定期試験を実施する。(2)検定を受験する。(3)授業内で数回小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○	◎	○		70%
	検定取得状況	◎	○	◎	○		10%
	小テスト	◎	○		○		20%
履修上の注意	Air Expertはクイックガイド持込不可の為、エントリを覚えること。確認テストの際はテキストは見ずに行う。						

科目名	マナー プロトコール										
科目名(英)	Manner & Protocol										
単位数	4単位			時間数	60時間			担当者			
実施年度	201年度			実施時期	前期			実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年生										
授業概要	国際化の著しい現代社会において異文化に対する理解は不可欠なものであるが、その前提として日本人、社会人として必須のビジネスマナー、テーブルマナー、プロトコール(国際儀礼)、冠婚葬祭に関わる知識や技能を、できるだけ正しく学び、理解する。										
授業形式	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○					日本の礼儀作法と西洋のマナー・エチケットの成り立ち・アジアのマナーを説明できる。					
	○					国際人としてのプロトコールの原則、社交の場でのコミュニケーション方法を説明できる。					
	○					電話対応のポイント、敬語、ビジネスシーンでのコミュニケーション方法のポイントを説明できる。					
	○					食事のマナーとして、和食・西洋料理・中国料理・各国料理のマナーの特徴を説明できる。					
	○					冠婚葬祭のしきたりのポイントを説明できる。					
テキスト・教材 参考図書	NPO法人日本マナー・プロトコール協会 マナー＆プロトコールの基本知識										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	マナーの歴史と意味 ー日本、西洋、アジアのマナーの成り立ち					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	2	プロトコール ープロトコールの基本原則と席次					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	3	プロトコール ーパーティの種類とマナー					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	4	プロトコール ー国旗の基本原則・礼拝堂でのマナー、伝統文化					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	5	ビジネスマナー ー服装のマナー、印象					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	6	ビジネスマナー ー手紙のマナー、ビジネス文書、贈答のマナー					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	7	食事のマナー ー和食、西洋料理、その他国料理のマナー					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	8	冠婚葬祭 ー日本の通過儀礼					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと。婚のしきたりを読んでおく。				
	9	冠婚葬祭 ー祭のしきたり					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと。葬のしきたりを読んでおく。				
	10	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				
	11	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				
	12	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				
	13	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				
	14	試験 ー試験実施、解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				
	15	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				
	16	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				
	17	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				
	18	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				
	19	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				
	20	試験 ー試験実施、解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				
	21	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				
	22	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				
	23	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				
	24	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				

	25	検定対策 一検定対策問題解答並びに解説	検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				
	26	試験 一試験実施、解答並びに解説	検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				
	27	検定対策 一検定対策問題解答並びに解説	検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				
	28	検定対策 一検定対策問題解答並びに解説	検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				
	29	検定対策 一検定対策問題解答並びに解説	検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				
	30	検定対策 一検定対策問題解答並びに解説	検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。				
評価方法	(1)授業の中で各章ごとに確認テストを実施する。(2)授業の中で定期試験にかわる試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	単元テスト	◎					40%
	定期試験	◎			○		50%
	宿題	◎					10%
履修上の注意	正試験期間中にマナープロトコール検定試験3級を受験します。						

科目名	実用英語ⅡA				
科目名(英)	Practical English ⅡA				
単位数	6単位	時間数	90	担当者	玉川 久美子
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科2年				
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格である英検、TOEICの高資格取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を習得することを目指す。				
授業形式	講義：○	演習：△	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
		○			
		○			
テキスト・教材 参考図書	・国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC公式問題集 ・TOEICリーディング問題集 ・TOEICリスニング問題集				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	文章中の情報をもとに構文ポイントを理解ーリスニング、語彙、品詞			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	2	構文ポイントの理解 - 主述の一致、格、時制、態、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	3	構文ポイントの理解 - 前置詞、接続詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	4	構文ポイントの理解 - 準動詞(動詞を他の品詞に変えたもの)			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	5	構文ポイントの理解 - 不定詞、動名詞、分詞、リスニング①			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	6	構文ポイントの理解 - 不定詞、動名詞、分詞、リスニング②			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	7	構文ポイントの理解 - 慣用表現、形容詞、副詞、リスニング①			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	8	構文ポイントの理解 - 慣用表現、形容詞、副詞、リスニング②			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	9	構文ポイント理解 - 語法、構文、比較、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	10	構文ポイントの理解 - 関係詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	11	構文ポイントの理解 - 情報を関連づけての読み取り			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)
	12	リスニング、長文読解 - 情報を関連づけての読み取り			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)
	13	リスニング、長文読解 - 情報を見つけて意味を理解できる			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)
	14	リスニング、長文読解 - 同義語を理解して言い換え表現ができる			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)
	15	分野別問題答練 - Part1、2、5、6(解法の確認)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	16	分野別問題答練 - Part1、2、5、6(重要文法の確認)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	17	分野別問題答練 - Part3、5、6			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	18	分野別問題答練 - Part3、7(解法の確認)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	19	分野別問題答練 - Part3、7(重要文法の確認)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	20	分野別問題答練 - Part4、7(解法の確認)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	21	分野別問題答練 - Part4、7(重要文法の確認)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	22	分野別問題答練 - Part1、2、5、6(基礎問題演習)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	23	分野別問題答練 - Part1、2、5、6(模擬問題演習)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)

	24	分野別問題答練 - Part3、5、6	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)				
	25	分野別問題答練 - Part3、7(基礎問題演習)	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)				
	26	分野別問題答練 - Part3、7(模擬問題演習)	意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)				
	27	総合模試対策① - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	28	総合模試対策② - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	29	総合模試対策③ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	30	総合模試対策④ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	31	総合模試対策⑤ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	32	総合模試対策⑥ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	33	総合模試対策⑦ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	34	総合模試対策⑧ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	35	総合模試対策⑨ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	36	分野別問題弱点補強 - 解法ポイントの復習(Part1、2、5)	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	37	分野別問題弱点補強 - 解法ポイントの復習(Part3、6)	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	38	分野別問題弱点補強 - 解法ポイントの復習(Part4、7)	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	39	分野別問題弱点補強 - 解法ポイントの復習(まとめ)	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	40	総合模試対策⑩ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	41	総合模試対策⑪ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	42	総合模試対策⑫ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	43	総合模試対策⑬ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	44	総合模試対策⑭ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	45	まとめ&質疑応答	確認テスト実施、事前の勉強をしておくこと。(1時間)				
評価方法	(1)授業の中で語彙テストを実施する。(2)課題を与える。(3)中間テストを実施する。(4)期末試験(筆記)を実施する。以上の観点、割合から総合評価する。 成績評価基準は内規に準ずる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト・課題	◎	○		○		10%
履修上の注意	課題の提出状況や授業中の取り組み姿勢も平常点として評価考慮するため、日々の定着学習を心掛けること。						

科目名	実用英語ⅡA				
科目名(英)	Practical EnglishⅡA				
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	宮崎 みゆき
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	国際線グランドスタッフとして勤務
対象学科・学年	エアライン科2年				
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格である英TOEICの550点以上取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。				
授業形式	講義：○	演習：△	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				目標
	○				文法、語法、語彙を学び、文章の内容を読み取ることが出来る
		○			英語を聴くことに慣れ、意味を聞き取り、特定状況の中で使われるフレーズを選択出来る
			○		ビジネスの背景知識を身につけるためにも日頃から新聞、ニュースに触れることで、知識や一般常識を活用できるようにする
テキスト・教材 参考図書	・国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC公式問題集				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	レベルチェック			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	2	TOEIC動機付け一文章中の情報をもとに構文ポイントを理解			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	3	構文の理解－主述の一致、格、時制、態			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	4	構文の理解－前置詞、接続詞			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	5	構文の理解－準動詞(動詞を他の品詞に変えたもの)			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	6	構文の理解－不定詞、動名詞			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	7	構文の理解－分詞			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	8	構文の理解－形容詞、副詞			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	9	構文の理解－慣用表現、形容詞、副詞			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	10	構文の理解－語法、構文、比較			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	11	構文の理解－関係詞			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	12	情報を関連づけての読み取り①－リスニングPart1、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)
	13	情報を関連づけての読み取り②－リスニングPart1、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)
	14	情報を関連づけての読み取り③－リスニングPart1、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)
	15	情報を関連づけての読み取り④－リスニングPart1、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)
	16	情報を関連づけての読み取り⑤－リスニングPart2、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)
	17	情報を関連づけての読み取り⑥－リスニングPart2、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)
	18	情報を関連づけての読み取り⑦－リスニングPart2、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)
	19	情報を関連づけての読み取り⑧－リスニングPart2、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)
	20	情報を関連づけての読み取り⑨－リスニングPart3、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)
	21	情報を関連づけての読み取り⑩－リスニングPart3、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)
	22	情報を関連づけての読み取り⑪－リスニングPart3、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)
	23	情報を関連づけての読み取り⑫－リスニングPart3、長文読解			見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)

	24	情報を関連づけての読み取り⑬ - リスニングPart4、長文読解	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	25	情報を関連づけての読み取り⑭ - リスニングPart4、長文読解	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	26	情報を関連づけての読み取り⑮ - リスニングPart4、長文読解	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	27	情報を関連づけての読み取り⑯ - リスニングPart4、長文読解	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	28	情報を関連づけての読み取り⑰ - リスニングPart4、長文読解	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	29	情報を関連づけての読み取り⑱ - リスニングPart4、長文読解	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	30	総合模試対策① - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	31	総合模試対策② - 限られた時間範囲で問題を解く	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	32	総合模試対策③ - 解説・重要事項の確認	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	33	総合模試対策④ - 限られた時間範囲で問題を解く	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	34	総合模試対策⑤ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	35	総合模試対策⑥ - 解説・重要事項の確認	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	36	総合模試対策⑦ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	37	総合模試対策⑧ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	38	総合模試対策⑨ - 解説・重要事項の確認	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	39	総合模試対策⑩ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	40	総合模試対策⑪ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	41	総合模試対策⑫ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(2時間)				
	42	総合模試対策⑫ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(3時間)				
	43	総合模試対策⑫ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(4時間)				
44	総合模試対策⑫ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(5時間)					
45	まとめ						
評価方法							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意							

科目名	実用英語ⅡA				
科目名(英)	Practical English ⅡA				
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	
実施年度	2021	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科2年				
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格である英検、TOEICの高資格取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。				
授業形式	講義：○	演習：△	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
	○				
		○			
テキスト・教材 参考図書	・旺文社 実用英語2級問題集、英語検定協会 過去問題 ・国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC公式問題集				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	解法ポイントの理解－リスニング、語彙・文法			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	2	解法ポイントの理解－リスニング、会話文			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	3	解法ポイントの理解－リスニング、長文読解①			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	4	解法ポイントの理解－リスニング、長文読解②			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	5	解法ポイントの理解－リスニング、英作文(形式確認)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	6	解法ポイントの理解－リスニング、語彙・文法、長文読解①			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	7	解法ポイントの理解－リスニング、語彙・文法、長文読解②			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	8	解法ポイントの理解－リスニング、英作文(問題演習)			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。(1時間)
	9	総合模試対策①－リスニング、語彙・文法、長文読解、英作文			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	10	総合模試対策②－リスニング、語彙・文法、長文読解、英作文			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	11	総合模試対策③－リスニング、語彙・文法、長文読解、英作文			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	12	総合模試対策④－リスニング、語彙・文法、長文読解、英作文			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	13	まとめ&質疑応答			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	14	TOEIC動機付け－文章中の情報をもとに構文ポイントを理解			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	15	構文の理解－主述の一致、格、時制、態、リスニング			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	16	構文の理解－前置詞、接続詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	17	構文の理解－準動詞(動詞を他の品詞に変えたもの)			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	18	構文の理解－不定詞、動名詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	19	構文の理解－分詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	20	構文の理解－形容詞、副詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	21	構文の理解－慣用表現、形容詞、副詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	22	構文の理解－語法、構文、比較、リスニング			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	23	構文の理解－関係詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること(1時間)
	24	情報を関連づけての読み取り①－リスニング、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)

	25	情報を関連づけての読み取り② - リスニング、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	26	情報を関連づけての読み取り③ - リスニング、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	27	情報を関連づけての読み取り④ - リスニング、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	28	情報を関連づけての読み取り⑤ - リスニング、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	29	同義語を理解して言い換え表現ができること①	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	30	同義語を理解して言い換え表現ができること②	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	31	総合模試対策① - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	32	総合模試対策② - 限られた時間範囲で問題を解く	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	33	総合模試対策③ - 解説・重要事項の確認	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	34	総合模試対策④ - 限られた時間範囲で問題を解く	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。(1時間)				
	35	総合模試対策⑤ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	36	総合模試対策⑥ - 解説・重要事項の確認	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	37	総合模試対策⑦ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	38	総合模試対策⑧ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	39	総合模試対策⑨ - 解説・重要事項の確認	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	40	総合模試対策⑩ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	41	総合模試対策⑪ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	42	総合模試対策⑫ - 解説・重要事項の確認	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	43	総合模試対策⑬ - 限られた時間範囲で問題を解く	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	44	総合模試対策⑭ - 解説・重要事項の確認	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
	45	まとめ&質疑応答	見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。(1時間)				
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) 数回、小テストや課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト・課題	◎	○		○		10%
履修上の注意	課題の提出状況や授業中の取り組み姿勢も平常点として評価考慮するため、日々の定着学習を心掛けること。						

科目名	実用英語ⅡA				
科目名(英)	Practical EnglishⅡA				
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	中山 久豪
実施年度	令和3年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科2年				
授業概要	国際化が進む中、航空業界をはじめサービス業界全般で英語能力が求められているため、基礎力の向上を目指す。英語運用能力を測る代表的な資格として、実用英語検定3級、準2級の取得を目標とする。またTOEIC受験において、分野別問題解法ポイントを習得する。				
授業形式	講義：○	演習：△	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	過去問題、プリント、くもんの中学英語基礎固め100%				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	レベルチェックテスト			無し
	2	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法：解法の確認)			無し
	3	英検準2級対策(リスニング、会話文：解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	4	英検準2級対策(リスニング、長文読解：解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	5	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法：基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	6	英検準2級対策(リスニング、会話文：基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	7	英検準2級対策(リスニング、長文読解：基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	8	英検準2級対策(リスニング、英作文)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	9	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法：過去問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	10	英検準2級対策(リスニング、長文読解：過去問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	11	模擬試験①			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	12	模擬試験②			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	13	模擬試験③、対策まとめ・質疑応答			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	14	一次試験の振り返り、二次試験対策			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	15	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法：解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	16	英検準2級対策(リスニング、会話文：解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	17	英検準2級対策(リスニング、長文読解：解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	18	英検準2級対策(リスニング、英作文：解法の確認)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	19	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法：基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	20	英検準2級対策(リスニング、会話文：基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	21	英検準2級対策(リスニング、長文読解：基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	22	英検準2級対策(リスニング、英作文：基礎問題演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	23	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法：過去問題①演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	24	英検準2級対策(リスニング、会話文：過去問題①演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)
	25	英検準2級対策(リスニング、長文読解：過去問題①演習)			授業の復習と次回授業の予習(1時間)

	26	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題②演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	27	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題②演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	28	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題②演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	29	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題③演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	30	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題③演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	31	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題③演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	32	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	33	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	34	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	35	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	36	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	37	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	38	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	39	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	40	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	41	TOEIC概要、各Partの解き方について	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	42	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	43	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	44	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	45	後期まとめ	授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) 数回、小テストや課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト・課題	◎	○		○		10%
履修上の注意	課題の提出状況や授業中の取り組み姿勢も平常点として評価考慮するため、日々の定着学習を心掛けること。						

科目名	総合英語Ⅱ						
科目名(英)	General EnglishⅡ						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。特に航空業界においては、TOEICのスコア(CA:600点以上、GS:550点以上)が応募条件の1つとなっている。この授業では、まず英語力の土台となる品詞に対する理解を深め、TOEICのPart5と6の問題へのアプローチ方法を学び、実践していく。						
授業形式	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					時制を理解し、日本語とは少し異なる時間の捉え方を学ぶことで英文を正しく読み取る。	
	○					修飾の表現を理解し、英文を詳しく丁寧に相手に伝えることができる。	
		○				様々な表現方法を学び、表現の幅を広げ応用させることができる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント 『TOEIC L&R テスト文法問題でる1000問』等						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	品詞問題①				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	2	品詞問題②				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	3	動詞問題①				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	4	動詞問題②				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	5	前置詞・接続詞問題①				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	6	前置詞・接続詞問題②				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	7	代名詞問題①				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	8	代名詞問題②				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	9	前置詞問題①				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	10	前置詞問題②				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	11	関係詞問題①				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	12	関係詞問題②				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	13	ペア表現・語法・数・比較問題				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	14	文法模試①				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
	15	文法模試②				復習を必ず行い授業に臨むこと。(1時間)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト	◎	○		○		10%
	宿題				◎		10%
履修上の注意	各授業の復習をしっかりと行うこと。英語辞書を持参すること。						

科目名	総合英語 II											
科目名(英)	General English II											
単位数	2単位			時間数		30時間		担当者		山下 満里		
実施年度	2021年度			実施時期		前期		実務家教員 担当科目				
対象学科・学年	エアライン科2年											
授業概要	航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。特に航空業界においては、TOEICのスコア(CA:600点以上、GS: 550点以上)が応募条件のひとつとなっている。この授業ではまず英検までは2級に必要な英文法と英作文力を問題をこなしながら身に付ける。英検後はTOEICで求められる英語の土台力となる品詞に関する理解を深め、Part5とPart6の問題へのアプローチの方法を学び実践していく。											
授業形式	講義: O			演習: Δ		実習:		実技:		※ 主たる方法:O その他:Δ		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	O	O				英検2級の英作文をわかりやすい構成や流れで書くことができる。						
	O	O				品詞の役割と英文構造を理解し、適切な文法知識を用いて解答できる。						
	O	O				正しい品詞や文型、また時制を使用し、単文、重文、複文を作ることができる。						
テキスト・教材 参考図書	TOEIC TEST 英文法でとこだけ！ アルク											
授業計画	回数	授業項目・内容							授業外学修指示			
	1	英作文、5文型							英作文を書いてくる。(1時間)			
	2	英作文、時制							英作文を書いてくる。(1時間)			
	3	英作文、重文							英作文を書いてくる。(1時間)			
	4	英作文、複文							英作文を書いてくる。(1時間)			
	5	品詞(1)							毎回小テスト			
	6	品詞(2)							毎回小テスト			
	7	動詞(1)							毎回小テスト			
	8	動詞(2)							毎回小テスト			
	9	接続詞(1)							毎回小テスト			
	10	接続詞(2)							毎回小テスト			
	11	前置詞							毎回小テスト			
	12	名詞を修飾する言葉							毎回小テスト			
	13	代名詞							毎回小テスト			
	14	関係詞							毎回小テスト			
	15	前期まとめ							毎回小テスト			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実地する。(2)授業内で小テストを実地する。(3)数回、宿題を課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・C(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験	◎		O								80%
	小テスト	◎		O				O				10%
	宿題							◎				10%
履修上の注意												

科目名	総合英語Ⅱ										
科目名(英)	General EnglishⅡ										
単位数	2単位			時間数		30時間		担当者		中山 久豪	
実施年度	2021年度			実施時期		前期		実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科・2年										
授業概要	TOEICや英検、日常会話の基本は中学・高校の英文法にある。本授業では、日常生活において中学、高校の英文法を的確に使えるようになること、また英検準2級程度の英語力を身につけることを目標とする。										
授業形式	講義：○			演習：△		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○	○				自分の身の回りのことなどを説明することができる。(話す)					
	○	○				相手の話すことを聞いて、理解することができる。(聞く)					
	○	○				簡単な説明文やメールなどを読んで、その内容を理解することができる。(読む)					
	○	○				自分の身の回りのことなどを文章で説明することができる。(書く)					
テキスト・教材 参考図書	テキスト:オリジナルプリント 参考図書:かんき出版『高校の英文法が1冊でしっかりわかる本』、くもん出版『中学基礎がため100%』										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	オリエンテーション、実力確認テスト					間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)				
	2	英語の基本ルール(品詞、句と節、動詞の種類、3単現のSなど)、現在形、過去形					間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)				
	3	未来表現、現在完了形、過去完了形					間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)				
	4	未来完了形、進行形、基本助動詞①②					間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)				
	5	助動詞の代用表現、重要表現、助動詞の否定文、疑問文					間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)				
	6	助動詞+have、文型(文の要素、第1文型、第2文型)					間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)				
	7	文型(第3文型、第4文型、第5文型)					間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)				
	8	受動態(作り方、第4、5文型の受動態、群動詞の受動態、by以外の受動態)					間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)				
	9	比較(原級、比較級、最上級)、不定詞(名詞的用法、形容詞的用法)					間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)				
	10	不定詞(結果用法、使役動詞、感覚動詞)					間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)				
	11	動名詞(役割、不定詞との違い、目的語との関係)					間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)				
	12	分詞(名詞修飾、補語で使用する分詞、分詞構文)					間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)				
	13	準動詞(主語、否定語、過去、受動態)、関係詞(関係代名詞、関係副詞)					間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)				
	14	仮定法(仮定法過去、仮定法過去完了)、～がなかったら、I wishの文、重要表現					間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)				
	15	前期試験対策復習問題					間違えた問題を再度確認すること(0.5時間)				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業内で小テストを実施する。(3)数回、宿題を課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲		その他		評価割合	
	定期試験	◎		○						80%	
	小テスト	◎		○		○				10%	
	宿題					◎				10%	
履修上の注意	英語辞書を持参すること。配布プリントは各自ファイルなどで管理すること。 出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。										

科目名 Subject Name		Airline English A										
科目名(英) Same as Above		Airline English A										
単位数 Credits		2		時間数 Hours		30		担当者 Instructor		Eoghan Mac Coille, Keith Kelly, Ian Dagnall, Jason Heliopoulos, Andy Highcock, Scott Newby		
実施年度 Year		2021		実施時期 Semester		前期		実務家教員 担当科目 Instructor with Career in Subject Area				
対象学科・学年 Class		Airline 2										
授業概要 Subject Description		1. Students can raise their English proficiency. 2. Students can gain more confidence in using English. 3. Students can practic Workplace related English skills.										
授業形式 Class Format		講義: Lecture △			演習: Practice ○		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標) Specific Targets in Focus		言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標 Targets					
		○					Students can raise their English proficiency.					
		○					Students can gain more confidence in using English.					
		○					Students can practic Workplace related English skills.					
テキスト・教材 参考図書 Textbooks and References		Speakout Elementary Book 2										
授業計画 Class Schedules and Contents		回数	授業項目・内容 Topics and Contents						授業外学修指示 Preparation and Review			
		1	Get to know your teacher						none			
		2	7.1 Travel Partners						Preview lesson materials and review previous lesson			
		3	7.2The Longest Bus Ride						Preview lesson materials and review previous lesson			
		4	7.3 Can you tell me the way?						Preview lesson materials and review previous lesson			
		5	7.4 Hong Kong (needs TV/DVD)						Preview lesson materials and review previous lesson			
		6	7.5 Lookback / Teacher's lesson						Preview lesson materials and review previous lesson			
		7	8.1 Having a good time						Preview lesson materials and review previous lesson			
		8	8.2 What a difference						Preview lesson materials and review previous lesson			
		9	8.3 What do you recommend?						Preview lesson materials and review previous lesson			
		10	8.4 Changing Trends (needs TV/DVD)						Preview lesson materials and review previous lesson			
		11	8.5 Lookback / Teacher's lesson						Preview lesson materials and review previous lesson			
		12	9.1 City Bikes						Preview lesson materials and review previous lesson			
		13	9.2 Free Ride						Preview lesson materials and review previous lesson			
		14	Speaking Test Practice						Preview lesson materials and review previous lesson			
		15	Speaking Test						Preview lesson materials and review previous lesson			
		Students evaluation: (1) Test – 50% (2) In-class Tasks – 50% The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)										

科目名	韓国語ⅡA					
科目名(英)						
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	盧愛連
実施年度	2021年度		実施時期	前期	実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	エアライン・2年					
授業概要	韓国の言葉、読み書き習得を中心に就職活動に役立つよう実力を身につけさせると共に、最も近い隣国である韓国への理解や文化の違いなどを盛り込み、国際人としての識見も備わるよう指導する。					
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○	○				文法や単語の意味を理解し、日常会話レベルの韓国語を習得し、実践することができる。
	○	○				簡単な日常会話を話せるようになる。
テキスト・教材 参考図書	基礎から学ぶ韓国語					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	前期学習分総復習 その1				
	2	前期学習分総復習 その2（前回分 小テスト）				
	3	4課 あります、います ありません、いませんか				
	4	4課 続き 練習問題 ポキャブラリーバンク				
	5	5課 します しますか（4課 小テスト）				
	6	5課 続き 練習問題 ポキャブラリーバンク				
	7	6課 します しますか（別表現）（5課 小テスト）				
	8	6課 続き 練習問題				
	9	7課 する等の動詞、形容詞語尾変化 敬語作りー1				
	10	7課 続き 練習問題 単語徹底 ポキャブラリーバンク				
	11	8課 敬語作りー2（とても大事、念入りに）				
	12	8課 続き 練習問題 例外変化徹底				
	13	7, 8課まとめ 単語、2通り変化練習 テストー1				
	14	7, 8課 総まとめ テストー2				
	15	前期学習分総まとめ 期末テスト対策				
評価方法	1. 授業中に小テストを回実施する。 2. 実力に抜きん出ている生徒等は授業の他に検定試験に向けての指導をする。過去問題等を解かせたり、先に進めて別テストを行う 3. 授業中に小テストを期末テストと合わせ、平常点として加算する。 4. 成績評価 S(90点以上) A(80点以上) B(70点以上) C(60点以上)D(50点以下)					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他 評価割合
	定期試験	◎	○			50%
	小テストや発表回数	◎	○	○	○	50%
履修上の注意						

科目名	中国語ⅡA						
科目名(英)	ChineseⅡA						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	王 波
実施年度	2021年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	昨年の学びを元に、さらなる日常会話、単語を使い簡単な文法の応用を目指す。						
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○	○			様々な単語を駆使して簡単な日常会話ができ、口頭試験に合格することができる。	
						日常的によく使われる表現を繰り返し身に付け、自由自在に会話ができる。	
						仕事の場面で使う表現を少しずつ覚え、正しく使うことができる。	
テキスト・教材 参考図書	中国語ははじめての一步						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	昨年学んだ内容の総復習					
	2	常用動詞の復習				単語をしっかりと覚えよう(0.5時間)	
	3	形容詞の復習				単語をしっかりと覚えよう(0.5時間)	
	4	大きな数字とお金				繰り返して練習しよう(0.5時間)	
	5	“量詞”				各量詞と名詞の組み合わせを覚える (0.5時間)	
	6	“想”と“喜欢”				単語を使い文型の理解を深めよう(0.5時間)	
	7	“有”の所有文の復習と存在文				単語を使い文型の理解を深めよう(0.5時間)	
	8	日付けの言い方				繰り返して練習しよう(0.5時間)	
	9	時間の言い方				繰り返して練習しよう(0.5時間)	
	10	主＋時＋動＋名の文型				単語を使い文型の理解を深めよう(0.5時間)	
	11	文型を使い会話練習					
	12	本文の演習				本文を暗記しよう(0.5時間)	
	13	練習問題を解く					
	14	作文：私の一日					
	15	口頭試験とテスト範囲復習					
評価方法	(1)口頭試験を実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(口頭試験加味)	○	○	○			100%
履修上の注意							

科目名	SPI対策Ⅱ							
科目名(英)	Preparation for Synthetic Personality Inventory Ⅱ							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	宮崎・村上・合力・中山	
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験		
対象学科・学年	エアライン科・2年							
授業概要	航空業界への就職試験では、多くの企業でテストセンターやWEBテスト、ペーパーテスト等の適性検査が実施されている。その際、制限時間内に正確な解答を導き出す力が必要である。この授業では、1年次に学んだ解き方を活用し、応用問題に取り組んでいく。							
授業形式	講義： ○		演習： △		実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○	○				SPI非言語分野頻出テーマの基本的な解き方を活用し、解答を導くことができる。		
		○		○		SPI非言語分野頻出テーマの解き方を他者に対して説明できる。		
テキスト・教材 参考図書	7日でできる！SPI必勝トレーニング、プリント							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	第1回レベルチェック(クラス分け)テスト				1年次のテキストで復習をしておくこと。(0.5時間)		
	2	仕事算、損益算				事前にテキストの当該範囲を読んでおくこと。(0.5時間)		
	3	分割払い、料金割引				前回の授業の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	4	料金精算、速度(基本)				前回の授業の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	5	旅人算				前回の授業の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	6	資料解釈				前回の授業の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	7	前半まとめ				前回の授業の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	8	第2回レベルチェック(クラス分け)テスト				前回の授業の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	9	表の読み取り、長文読み取り				前回の授業の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	10	順列・組み合わせ、確率				前回の授業の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	11	割合、集合				前回の授業の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	12	推論				前回の授業の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	13	実践テスト① ※実践テストは、レベルに合わせて取り組む。				前回の授業の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	14	実践テスト② ※実践テストは、レベルに合わせて取り組む。				前回の授業の復習をしておくこと。(0.5時間)		
	15	前期まとめ				前回の授業の復習をしておくこと。(0.5時間)		
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)宿題を課す。 (3)中間テストとして、第2回レベルチェックテストを実施する。(4)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験	◎	◎				70%	
	中間テスト (第2回レベルチェックテスト)	◎	◎				20%	
	宿題・確認テスト	○			◎		10%	
履修上の注意	特になし。							

科目名	一般教養ⅡA							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	市原 美智子	
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験		
対象学科・学年	エアライン科・2年							
授業概要	企業の就職試験問題に対応できる実力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力とSPI問題の解法を理解し、実際の採用試験に解答できる能力の養成を行う。							
授業形式	講義：○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○					漢字検定2級程度の漢字の読書ができる		
	○					計算問題を中心に正確に解答することができる		
	○					英検準2級程度の問題に解答することができる		
	○					歴史に沿って時代の流れを理解し、歴史上の出来事について概要を説明することができる		
	○					数学の文章問題・四則演算を限られた時間の中で解答することができる		
テキスト・教材 参考図書	オリジナルテキスト							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	科目概要・シラバス説明						
	2	第1回：世界史、英語、SPI(玉手箱、分割払い)				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	3	第1回：数学、第2回：社会、SPI(玉手箱、分割払い)				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	4	第2回：英語、数学、SPI：割引料金と精算、仕事算				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	5	第3回：社会、SPI：割合、損益算				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	6	第3回：数学、英語、SPI：損益算、速度算				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	7	第4回：数学、社会、英語、SPI：速度算、集合				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	8	第5回：数学、英語、社会				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	9	第6回：社会、英語、SPI：集合、推論				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	10	第7回：社会、英語、数学、SPI：推論				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	11	第8回：社会、英語、数学、SPI：推論、四則演算				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	12	第9回：英語、数学、社会、SPI：四則演算、割合				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	13	第10回：数学、社会、英語				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	14	第10回：英語、SPI：売買分割、推理、順列・組み合わせ				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	15	まとめ：前期試験範囲振り返りと対策				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
評価方法	(1)定期試験 (2)出席状況 (3)小テスト 以上を、以下の観点・割合で評価する。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験(筆記)	◎			○		80%	
	小テスト(筆記/2回)	◎			○		10%	
	出席状況	◎			○		10%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。							

科目名	社会教養ⅡA						
科目名(英)	Social educationⅡA						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	教養を深めるための経験を通し、社会人として必要とされるマナーや知識を身に付ける。						
授業形式	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				就職活動の決まりを理解し、それに則って活動出来る	
	○	○				就職試験対策の事前準備を行い、授業に参加出来る	
	○		○			社会人として必要なマナーと知識を身に付け、レポートにまとめることが出来る	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	就職情報伝達・企業研究の仕方・目標設定				授業で学んだことを復習し、理解を深めること(0.5時間)	
	2	1、2年生交流会				授業で学んだことを復習し、理解を深めること(0.6時間)	
	3	学科行事 ゆふいんの森号体験乗車				授業で学んだことを復習し、理解を深めること(0.7時間)	
	4	就職情報伝達・面接対策(1)CA対策				授業で学んだことを復習し、理解を深めること(0.8時間)	
	5	就職情報伝達・面接対策(2)GS対策				授業で学んだことを復習し、理解を深めること(0.9時間)	
	6	就職情報伝達・面接対策(3)鉄道・その他対策				授業で学んだことを復習し、理解を深めること(0.10時間)	
	7	就職情報伝達・面接対策(4)GD対策				授業で学んだことを復習し、理解を深めること(0.11時間)	
	8	就職情報伝達・面接対策(5)個人面接対策				授業で学んだことを復習し、理解を深めること(0.12時間)	
	9	社会人基礎力講座(1)相互理解を深める				授業で学んだことを復習し、理解を深めること(0.13時間)	
	10	社会人基礎力講座(2)ロジカルシンキングを身に付ける				授業で学んだことを復習し、理解を深めること(0.14時間)	
	11	社会人基礎力講座(3)クリティカルシンキングを身に付ける				授業で学んだことを復習し、理解を深めること(0.15時間)	
	12	社会人基礎力講座(4)クリエイティブシンキングを身に付ける				授業で学んだことを復習し、理解を深めること(0.16時間)	
	13	社会人基礎力講座(5)総合力を身に付ける				授業で学んだことを復習し、理解を深めること(0.17時間)	
	14	社会人基礎力講座(6)自己理解をまとめる				授業で学んだことを復習し、理解を深めること(0.5時間)	
	15	前期の振り返り レポート作成					
評価方法	レポート提出(レポート用紙2枚)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート提出		◎		◎		100%
履修上の注意	授業項目・内容の項目の順番が変更になる可能性あり。その際は事前に周知する。						

科目名	GCB II						
科目名(英)	Global Citizen Basic II						
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	
実施年度	2021年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	GCB I での考え踏まえ、さらに「社会とのつながりの中で自分自身の生きる姿勢」、すなわち“志”について考える。夢を実現するためには「行動する力」が必要となるが、そのためには具体的に言語化してビジョンにし、そのビジョンに強い信念が伴い、自分以外の人や社会・公のことが視野に入ると“志”に近づくという事を学び、実践出来るようになることを目指す						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
				○		自らの考えを積極的に発表することができる	
テキスト・教材 参考図書	・グローバルシティズンベーシックⅡ 志の教育(学生用テキスト)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	グローバルシティズンと“志”				振り返りレポートの作成(1時間)	
	2	自分を取り巻く環境を知る ～世界の中の日本・日本の中の私～				振り返りレポートの作成(1時間)	
	3	自己を知る				振り返りレポートの作成(1時間)	
	4	伝える力を学ぶⅠ～プレゼンテーション～				振り返りレポートの作成(1時間)	
	5	伝える力を学ぶⅡ～グループコミュニケーション～				振り返りレポートの作成(1時間)	
	6	先人の志に学ぶ～プロフェッショナルとは～				振り返りレポートの作成(1時間)	
	7	成功者の考え方に学ぶ～まとめにむけて～				振り返りレポートの作成(1時間)	
	8	自らの志を言語化する(知行合一の考え方に基づく)				振り返りレポートの作成(1時間)	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート作成・発表				◎		100%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。						